

みんなの健康ラジオ

『成人の鼠径部ヘルニアについて ①』

(2023年7月6日放送)

横浜外科医会

横浜みなと外科クリニック

川崎 篤史

鼠径部ヘルニアとは

鼠径部ヘルニアとは“脱腸”とも呼ばれ、脚の付け根の部分（鼠径部）の組織が弱まり、腸や内臓脂肪の一部が飛び出してしまい、ぽこっと膨らむ良性の病気です。

■ 鼠径部ヘルニアのポイント

- ・ 成人の鼠径部ヘルニアは自然に治ることはない。
- ・ 膨らみは時間経過と共に大きくなることが多い。
- ・ 飛び出した腸などが戻らなくなり、腸が腐ってしまう状態（嵌頓：かんとん）になると、緊急手術が必要になる。

早期に専門の医療機関への受診をお勧めします

鼠径部ヘルニアの原因

成人の鼠径部ヘルニアは、鼠径部の組織（筋膜・筋肉）が弱くなったり、おなかの圧力（腹圧）が上がって
おなかの壁（腹壁）がおなかを支えきれなくなることが
原因で鼠径部のヘルニアが起こります。

■ 鼠径部の組織が弱くなる原因

加齢 糖尿病 無理なダイエット など

■ おなかの圧力（腹圧）が上がってしまう原因

肥満 カ仕事 過度なトレーニング など

鼠径部ヘルニアの症状

□ 典型的な症状

大きくなったり小さくなったりする鼠径部の膨らみ

- ・ おなかに力を入れた時に飛び出し、力を抜いた時にへこむ。
- ・ 一日のうちでは、立って活動をした夕方に大きくなり朝起きた時は小さくなっている。

□ 上記以外の症状

鼠径部や陰囊の違和感や不快感、突っ張り感
腹痛や便秘 など

鼠径部ヘルニアの種類

鼠径部ヘルニアにはいくつか種類があります。年齢や性別によって、飛び出す位置は様々です。

■ 外（がい）鼠径ヘルニア

- ・ 内鼠径輪という「穴」から飛び出すヘルニア。
- ・ 男女共に最も多いタイプ。

■ 内（ない）鼠径ヘルニア

- ・ 横筋筋膜という部分に生じた「裂けめ」から飛び出すヘルニア。

■ 大腿（だいたい）ヘルニア

- ・ 出産を経験して比較的痩せた女性に多いタイプ。

上記のタイプが同時に起こる場合もあります

鼠径部ヘルニアの「嵌頓」とは

穴や裂け目から飛び出した内臓などが戻らなくなり、血のめぐりが悪くなる状態を、嵌頓（かんとん）と言います。最悪の場合、飛び出して戻らなくなった部分が壊死してしまうため非常に危険です。

■ 鼠径部ヘルニアの「嵌頓」のポイント

- ・ 膨らみがもとに戻らなくなり強い痛みの症状がある。
- ・ お腹全体に痛みが生じたり、吐いたりすることもある。
- ・ 緊急手術が必要となる場合が多い。

嵌頓を疑った場合は早期に医療機関への受診を！